



臨床研究部
からの
お便り

クオリティ研究のご紹介 第39回

臨床研究は未解決の医学的問題を 解決するためのチャレンジです

現在、三重病院では様々な「臨床研究」を行っています。医学はどんどん進歩していますが、未解決の問題はまだ多く、私たちは何とかしなければ、と思いつながら診療を行っています。そのため、科学的な方法で解決の道を探ろうと「研究」をしています。三重病院はいろいろな課題に取り組んでますが、今回はアトピー性皮膚炎と食物アレルギーに関する研究を一つ紹介させていただきます。

赤ちゃんの食物アレルギー発症を 予測できる？

今回紹介させていただく研究は、「ハイリスク乳児における食物アレルギー発症前診断法の確立に関する研究：QUALITY (クオリティ)研究」です。

乳児期(1歳以下)、特に生後5か月未満での湿疹(アトピー性皮膚炎)があると、あとから食物アレルギーを発症してしまう可能性が高くなることが報告されています。この湿疹を早い時期に良くしてあげることで、食物アレルギーを減らせるのではないかとされています。

現在は、食物アレルギーが疑われるとき、血液検査や実際に疑われる物を食べてもらう(食物経口負荷試験)などの検査を行い、診断します。しかし、今、利用できる血液検査だけでは、本当に症状を起こすかどうか正確に診断することができず、特に乳児期では検査の正確性は高くありません。そのため、食物経口負荷試験を行う必要がありますが、症状がでてしまうことがあり、ときにアナフィラキシーといった強い症状を起こす可能性があり、かなり慎重に行わなければならないと、とても時間がかかります。そこで今回、より精度の高い新しい血液検査法が開発されたので、これを使うことでリスクの高い食物経

口負荷試験をしなくてもよくなったり、食物アレルギーを起こすお子さんを早く見つけて適切な対処で予防したり、ができるようになるのではないかと考え、この研究を始めました。

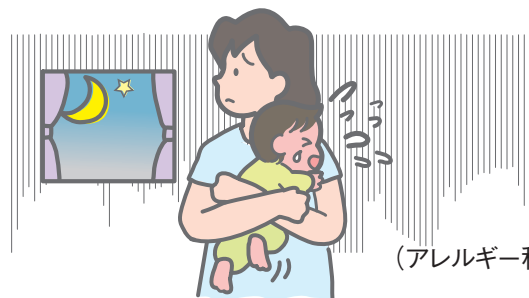
乳児湿疹がなかなかよくなる 赤ちゃんがいらつしゃつたら...

湿疹の治療をうけているけどあまり良くならない、繰り返すなどで心配な方は、ぜひ一度三重病院のアレルギー科の受診をしてみてください。研究にかかわらず、当院アレルギー科では、アレルギーの可能性のあるお子さんの離乳食の始め方やスキンケア指導などを丁寧に行なっています。



今回ご紹介した研究にご参加をお願いしたいのは、生後5か月未満の赤ちゃんで、それまでに湿疹を繰り返していた方ですが、もし、研究にご興味をいただけて、まずは少しでも話を聞いてみたいということであれば、三重病院までご連絡ください。(お電話をしていただく際に「クオリティ研究について話が聞きたい」とお伝え下さい。すぐに対応できないこともありますが、なるべく早めにご説明いたします。

研究へのご参加、お待ちしております。このような研究を通して、日頃の診療レベルもアップしていきたいと思っていますので、皆様のご協力をぜひお願いいたします。



(アレルギー科、小児科
高瀬 貴文)